

# 未来に向かって伸びる鶴嶺の子 鶴小だより 2月号

茅ヶ崎市立鶴嶺小学校  
校長 大久保仁晶  
令和2年1月31日発行

## 講演会より

大寒（1月20日）も過ぎ、いよいよ寒さも厳しくなってきました。1月は学級閉鎖は出ていませんが、市内ではインフルエンザによる学級閉鎖も多く見られます。B型も少しずつ出てきています。2月は最後の授業参観・懇談会も控えています。体調管理に十分気をつけて、残りの日々を過ごしてほしいと思います。

1月に茅ヶ崎市教育講演会に参加しました。演題は「幼児期から始まるアクティブラーニング～主体的に学ぶ子を育てる教育～」で、講師は大豆生田（おおまめうだ）啓友先生でした。教育テレビの「すくすく子育て」などにも出られている方です。具体的な事例を混ぜながら、ユーモアたっぷりの講演でした。

そのお話の中で、次のようなことが語られました。

- 遊びを通して、非認知能力を育てることは、生涯の幸せや経済に影響をする。  
（非認知能力とは、意志力・自尊心・粘り強さ・自己制御・思いやり）
- 乳幼児期の大切なかかわり（NICHD（アメリカ国立子どもの健康と人間発達研究所）の調査より）
  - ・スキンシップ（甘える、愛される）
  - ・応答すること・語りかけ（豊かな語彙）
  - ・その時期にあったかかわりをする（遊び、直接体験）
  - ・絵本の読み聞かせをすること

これからの時代は、AIが大きな力となってきます。それゆえ「人だからできる力」がより大切になってきます。子どもは夢中に遊ぶ中で、多くのことを学んでいます。そして、困難を乗り越える力（やりぬく力）も身につけていきます。講師の方の話を聞いていて、子育ては、やはり人とのかかわりが大事なのだと改めて感じました。同時に、目の前にいる子どもと正対することで、大人もいろいろ発見し、子どもから学び、ともに成長していくのだとも感じました。乳幼児期の話でしたが、小学校ともつながりがある話題と感じ、今回紹介させていただきました。

### 子ども☆キラキラプロジェクト 運動習慣カードについて

神奈川県教育委員会より「子ども☆キラキラプロジェクト 運動習慣カード」が配付されました。子ども☆キラキラプロジェクトは、子どもの体力・運動能力の向上や運動習慣の確立、生活習慣の改善を目指す様々な事業を展開しています。よく運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向を解消するため、子どもが自分の運動習慣を楽しみながら確認し、意欲的に運動をすることで、運動を続ける習慣の確立を目指して、運動習慣カードが作成されました。

4週間、運動や体を動かす遊びをしたら○をつける形となっています。ビンゴになっているので、ゲーム感覚で取り組むことができます。寒さが募る季節ですが、一人でも、友達と一緒にでもよいのでこのカードを活用して、体を動かす習慣をつけていただければと思います。せっかくの機会ですので、家庭で活用してみてください。